

31H 西田 千紘 32H 木谷 優海 34H 加賀 妃莉  
 35H 橋本 豊志 35H 堀口 健蔵 36H 岡本 真奈

■課題

石川県には空き家が多く、有効活用されていない

■解決策

空き家バンクに空き家を登録することで空き家への移住者を増やす

■現状(課題の背景)

①石川県の空き家の件数が増えている

石川県の売却用や賃貸用になっていない空き家は平成25年から平成30年にかけて1400件増加した

表1 石川県の空き家の内訳と総数の推移 2)

石川県	絶対数動向	平成30年10月	平成25年10月
空き家総数	△	77800	76900
賃貸用	△	36300	35900
別荘など	▽	2700	3500
売却用	▽	1100	1400
その他	△	37600	36200

平成15年と平成25年の状況を比較すると、相続・贈与で取得した空き家が大きく増加している

表2 石川県の空き家の取得方法の推移 2)

取得方法	平成15年 面積(km <sup>2</sup> )	平成25年 面積(km <sup>2</sup> )	増加率
国・都道府県・市町村から購入	25	22	-12%
会社・都市再生機構・公社などの法人から購入	69	48	-31%
個人からの購入	160	172	8%
相続・贈与・取得	394	701	78%
その他	24	29	20%
不詳	9	10	1%
総数	681	981	44%

②石川県の空き家バンクの登録率が低い

・石川県の空き家バンクに登録割合は0.46%(平成25年)

表3 空き家バンク等の平成25年度末時点における登録件数 1)

市町村名	空き家バンク等平成25年度時点件数		
	空家住宅	空き建築物	その他
石川県	221	2	146
富山県	113	0	41
新潟県	138	5	46

比較 他の地域の空き家バンク登録数(令和4年)  
 ※空き家バンクの登録数が多い順

- 1 山口県萩市 88 ÷ 5430 × 100 = 1.62%
- 2 石川県珠洲市 69 ÷ 1490 × 100 = 4.63%
- 3 新潟県佐渡市 60 ÷ 7300 × 100 = 0.82%

珠洲市が全国的に見ても空き家バンク登録数がとても高いが、石川県全体で見ると低い

→**空き家管理に関する条例を施行している市町村の数が少ないから**

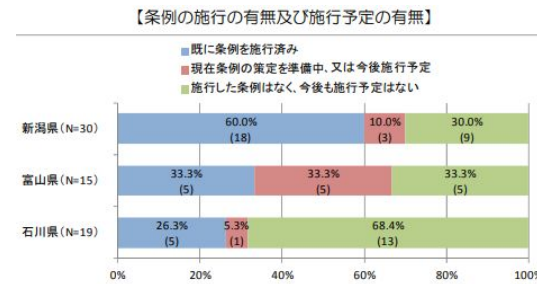


図1 北陸地方の空き家に関する条例の施行の割合

<https://www.hrr.mlit.go.jp/kensei/machi/akiya/pdfdata/issiki.pdf>

■具体的内容

空き家管理に関する条例(給付金制度)を定め、空き家への移住を促進する

■効果

①空き家バンクを利用する人が増え、空き家の戸数が減る

石川県には空き家に対する助成金制度ができており、これにより、以前より簡単に空き家を活用することができる。また、条約が定められることで空き家を持ち主が管理しようとし、結果的に空き家バンクに登録する空き家の戸数が増える

→空き家が様々な形で活用され、結果的に空き家の戸数が減る

②空き家の戸数が減ることによって災害を防ぐことができる

(例)空き家での漏水による地域全体での断水

■参考文献

- 1) 北陸地方における空き家対策と取組事例 <https://www.hrr.mlit.go.jp/kensei/machi/akiya/pdfdata/issiki.pdf> (参照2023-02-27)
- 2) 石川県の空き家の状況-不動産鑑定士 <http://kanazawa-kantei.co.jp/> (参照2023-02-07)